

# 「資源増大に役立てて」

神奈川トヨタ  
商 事 県栽培協に寄付

【三崎】プレジャーボート販売などを行うKTTグループの神奈川トヨタ商事の黒田圭次郎社長は4日、三浦市三崎町城ヶ島の神奈川県栽培漁業協会を訪れ、資源増大に役立ててほしいと10万円を寄付した。また、KTTグループの上野建彦社長は、個人として5万円を寄付した。

同協会の今井利為専務に寄付金を贈呈したあと、黒田社長はマダイ種苗飼育施設を見学。稚魚に餌を与え「種苗の年間の生産量は「放流までの飼育期間は」と質問。今井専務は「年間60万尾を生産し、約3か月半で放

流する」と答え、アワビやサザエといった種苗の生産にも取り組んでいることを説明するなど、黒田社長は県の資源増殖事業に認識を深めていた。同社はフィッシング・イベントを開催する機会が増えており、そのためには水産資源の維持・増



大が欠かせないとして、なるなど、県下の栽培漁業発展を支援している。地元で種苗生産・放流・

サザエ種苗生産施設の前で黒田社長が今井専務に寄付金を贈呈

幹(あつ)旋に取り組む栽培協に寄付を続けている。上野社長は早くから個人として賛助会員に